



Q151. マズローの5段階説は分類できる？



A. 3種類に分類されているよ。

マズローの欲求5段階説の5つの階層は、それぞれの性質に合わせてグループ分けされることがあるんだ。

- ・物質的欲求 と 精神的欲求
 - ・外的欲求 と 内的欲求
 - ・欠乏欲求 と 成長欲求
- このように分類されているよ。

ひとつ目の分類では

“物質的欲求” = 「生理的欲求」「安全の欲求」
生命維持のために必要な物資なんかに関わる欲求だね。
モノを手に入れることで満たされる欲求とっていいかもしれない。

“精神的欲求” = 「社会的欲求」「承認の欲求」「自己実現の欲求」
非物質的な心の満足度に関わる欲求だよ。
喜びや充足感など、精神的に満たされる欲求ということになるね。

安心だと思える場所で、安心できる人と過ごせる時間がある、という物質的欲求が満たされると、仲間意識が生まれ、自分でもできるという自信を持って、自立していこうという精神的欲求につながっていくんだね。

別の分類だと

“外的欲求” = 「生理的欲求」「安全の欲求」「社会的欲求」
自分に関わる外部環境を満たそうとする欲求で、衣食住や社会との関わりなど、他者からの影響によって大きく左右される、自分自身の外側にあるものを整えよう、という欲求のこと。
生存や社会的な関係を保っていくために満たされなければならないものなんだね。

“内的欲求” = 「承認欲求」「自己実現の欲求」
外的欲求が満たされると、人の欲求は内面に向くとされていて、自分自身を最大限に表出し、自分の可能性を最大限に引き出したいと思う欲求のこと。
外的な要因(他者や環境など)からの影響よりも、自分の内面から湧き出てくる思いによって突き動かされていくものだよ。

家や学校での生活の中で、子どもが毎日、安全に過ごせ、やることが解り、このグループに所属できているという安心感を持てると、外的欲求が満たされる。
そうすると、あれに挑戦してみよう、どうすればできるようになるのか、という、自分の内側から起こってくる好奇心をモチベーションにできるようになるんだ。

また別の分類では

“ 欠乏欲求 ” = 「生理的欲求」「安全の欲求」「社会的欲求」「承認欲求」
自分に足りないものを、他者や外部から取り入れたいと思う欲求のことだね。
自分の「欠けているものを埋めたい、足りないところを補いたい」という欲求だけど、人は自分に足りないものを手に入れることができると、さらに入手しようというモチベーションが下がるとされているよ。
“ 成長欲求 ” = 「自己実現の欲求」
4つの欠乏欲求が満たされた状態になると、さらに自分を高めていきたい、自分の可能性を追求したいという欲求が出てくる。
「より人として成長したい」という気持ちが生まれてきて、成長欲求が満たされると、さらに良くなりたいという欲求が高まってモチベーションも上がるとされている。

自分自身が落ち着いた気持ちで過ごせることができ、身の回りのことは自分でできる、という欠乏欲求が満たされた状態だと、モチベーションを外部からもってくるのが難しくなるよ。
その代わりに「あれをやってみたい」「こういうふうに過ごしたい」という「自分で決めたことをやりたい」というモチベーションが高まってくる。
成長欲求が自己実現のニーズを満たしつつある、というやつだね。

[放課後等デイサービス](#)は子どもの地域社会への参加・包容(インクルージョン)を進めるため、他の子どもも含めた集団のなかでの育ちを保障する視点が求められているんだ。
では、子どもをサポートするときに、どの時点で[地域](#)に帰っていったらいいのだろうか？
どの階層まで子どもを引き上げて地域に帰そう、と意識できているだろうか？
そのために必要なことはなにか、を考えられているだろうか？

答えはひとつではないはず。

ひとりひとり違うはずの答えを、僕たちは求め続けられているだろうか？

[《MENU》](#)

[《マズローに6段階目があるの？》](#)

[《ライフステージに合わせた支援って？》](#)

放課後等デイサービス支援事業
Support Project of
Day-service for After-school
At Kyoto

2023-09-25 掲載